

## ○懇話会委員の意見要旨〔総合戦略〕

資料4-②

### (1) 意見を反映したもの(4件)

番号	該当箇所	意見の要旨	本市の考え方
1	6ページ 第1章 広域連携に向けて 5 連携中枢都市及び構成市町の概要	内容を2015年(平成27年)10月時点の内容に更新する必要があるのではないのでしょうか。〔中国横断自動車道尾道松江線(中国やまなみ街道)の全線開通が予定されており…〕	「中国横断自動車道尾道松江線(中国やまなみ街道)が全線開通し…」に修正します。
2	56ページ以降 第6章 福山市の将来像の実現に向けた具体的取組	目標とする年次を統一していただきたい。 項目ごとに目標とする年次が異なっており(中には同じ項目でも目標年次が異なっている)、もう少し「いつまでに何をやる」のか整理していただきたい。(年次が異なる理由もわからない)	基本的には5か年の最終年次である「(2019)」としておりますが、統計調査の時期などの関係で、目標年次が異なっています。 なお、最終年次に把握ができる指標については「(2019)」に統一します。
3		人口ビジョンにおいて女性の雇用の場の必要性を指摘されているが、具体的な取組が示されていないのではないかと。	P58の(3)若者定着の促進と安定した雇用の創出の(具体的な施策)に、「女性の再就職支援」を追加します。 なお、女性の定住促進に向け、雇用の場の創出として、女性の創業支援などを行うこととしております。
4		人口減少の最大の要因として、女性に関わる事項がたくさん指摘されている。それらを受けて「総合戦略」では、その打開策としてまとめられるものと考えられますが、「備後圏域」の総括に従ったため、視点がずれているように感じられます。 総合戦略の4つの視点のうち、「若い世代の結婚・出産・子育てへの希望をかなえる」について、その具体的な取組としては2ページ(P61, 62)だけでまとめられていますが、「人口ビジョン」で女性の要因が多くページをさいてまとめられているだけに物足りません。特別な項目を起こして、「女性が定住してもらえる社会の実現」といったように、まとめられたらいいかでしょうか。	また、P54に、総合戦略の推進に向けた考え方として、「データに基づいて、若者・女性にターゲットを絞る中で、実効性の高い施策の立案・実施」を掲げており、すべての施策においてこうした視点をもって取り組んで参ります。

### (2) 市の考え方を説明するもの(8件)

番号	該当箇所	意見の要旨	本市の考え方
1	55ページ 第5章 福山市総合戦略の推進方針 4 福山市総合戦略の推進に向けて	地方創生に向けて実効性のある施策を実施していくためには、民間から幅広く意見を取り込んでいく必要があると考えます。また、民間の要望は刻々と変動しているため、政策に民間の意見を反映させる際には、タイムリーに対応いただき、民間が望む最適な時期を逃さない運営をしていただきたい。	福山市総合戦略推進懇話会をはじめ、あらゆる機会を捉えて意見交換するなど、的確にニーズを把握する中で、実効性のある施策の立案・実施につなげて参ります。
2	56ページ以降 第6章 福山市の将来像の実現に向けた具体的取組	具体的取組の福山市としての特色(独自性)は何か。 他の自治体と比較して、強み・弱みに対してどう取り組んでいくのかわかりにくい。(他自治体も同じような取組をするのではないかと)	総合戦略の推進に当たっては、P54に掲げるとおり、(1)ポテンシャルを最大限に生かす、(2)データに基づき若者・女性などをターゲットに、(3)個から社会全体のサービスへ、の3つの方針により施策を立案・実施して参ります。 例えば、本市はものづくりに強いまちで、多種多様な中小企業が多く集積しています。これらの中小企業のイノベーションを促す施策を推進することで、地域経済の活性化につなげ、雇用の受け皿づくりを進めて参ります。また、中核市の中でも高い水準にある合計特殊出生率を背景とした子育てしやすい環境づくりを更に進めることで、若い世代の定住などにつなげて参りたいと考えております。

番号	該当箇所	意見の要旨	本市の考え方
3	56ページ以降 第6章 福山市の将来像 の実現に向けた具体的取組	雇用創出について「強み」を生かした成長産業への支援、ものづくり産業の競争力の強化などが掲げられているが、人口ビジョンの分析(P38など)にある、若い女性の雇用の受け皿となる、サービス業、小売店や病院の集積を高める必要があるのではないかと。	若い女性の雇用の受け皿づくりは、重要であると考えております。このため、女性の創業支援や再就職支援などに取り組むほか、産・学・金などの関係機関と連携する中で、雇用の受け皿づくりについても検討して参ります。
4		可能ならば優先度を明示し、他都市との競合という客観性の中で重点指標を実行していただければ有難いと思っております。	総合戦略には、4つの視点それぞれに基本目標を設定し、分野ごとに優先的かつ重点的に取り組む施策を掲げております。 また、総合戦略については、ポテンシャルを最大限に生かすなど、3つの方針をもって、推進することとしており、例えば、ものづくりに強いまち、子育て支援環境の充実といった強みを生かす中で、若者や女性の地元定着、そして出生数の維持・増加という好循環につながるよう、優先的かつ重点的に取り組んで参ります。
5		福山市人口ビジョンの現状分析には福山市の強みと弱みが明確に分析されています。 びんご圏域ビジョンにもとづき様々な視点でKPI(業績評価指標)の指標設定が行われまとまっています。できれば視点別のKGI(目標達成指標)を設定していただければわかりやすいと思っております。また、産業と雇用の視点で、今後GNPの7割になると予測されるサービス業の基盤強化を一層充実させることが必要かと思っております。  サイバーシティ福山市をテーマとして取り上げてはいかがでしょうか。 ・情報技術革新で新たなステージの高度情報化社会が迫っている。 ・若年層の共感を得られやすい。 ・国際性の将来像を描ける。(産業競争力・知名度・インバウンド・文化)	4つの視点ごとに基本目標を設定しております。また、これらの基本目標の達成に向けて実施する施策ごとに重要業績評価指標を設けております。 なお、産業と雇用におけるサービス業の基盤強化や、サイバーシティについては、今後、事業の具体を検討する際の参考とさせていただきます。
6	59ページ 第6章 福山市の将来像 の実現に向けた具体的取組 2 魅力を高め、新しい人の流れをつくる 「基本的方向」	基本的方向の中でも、とりわけ「効果的なプロモーション」及び「圏域の魅力づくり」は具体性を欠き理想を語っただけのものとなっている。	基本的方向のうち、「効果的なプロモーション」及び「圏域の魅力づくり」については、びんご圏域活性化戦略会議に位置づく研究部会やワーキングなどにおいて検討しているところであり、例えば、2020年(平成32年)東京オリンピック・パラリンピック開催を念頭に置いたインバウンド観光の推進に向けた具体的な取組について検討しています。
7	61ページ 第6章 福山市の将来像 の実現に向けた具体的取組 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	目標値について「出生数を現状維持」、「合計特殊出生率を0.08ポイントの上昇」としているが、女性数を増やさず、1人の女性が産む子どもの数を増やす発想であり、人口ビジョンにおいて「喫緊の課題」とした「女性の減少を抑える」とことと矛盾しないか。	今後、男性・女性ともに自然減少が避けられない中で、若者を中心とした転出数の抑制や、市民の希望出生率の達成に向けた取組を進めるなど、「出生数の維持」と「合計特殊出生率の上昇」につながるよう、努めて参ります。
8	64ページ 第6章 福山市の将来像 の実現に向けた具体的取組 4 安心・安全に暮らし続けることができる地域をつくる	「4 健康で安心・安全に暮らせるまちを実現する(※修正後「4 安心・安全に暮らし続けることができる地域をつくる」)」の目標設定がわかりにくい。 アンケート結果やセミナーの参加者数など、やり方次第でどうにでもなるような目標設定はすべきではないと考える。 直接それが医療・福祉サービスの充実という結果につながらないのではないかと。	アンケート結果を指標としていることについて、市民アンケートは、行政施策を評価する一つの手法であり、当該市民アンケートにおいて「病院整備や保健・医療サービスの充実」についての市民ニーズが高いことから、重要業績指標として設定しております。また、福祉サービスの充実を測る一つの指標として「障がい者雇用推進セミナー参加者数」を設定しております。